



CAMPUS

大学の“進化” を伝える **ing** キャンパス アイエヌジー

【CAMPUSing(キャンパス アイエヌジー)とは】

少子化の進む昨今、18歳人口も減少傾向が続き、
大学はいよいよ生き残りをかけた戦略に本気で取り組む時期に直面しています。
そうした中で重要性を増しているのが大学の広報活動です。
「入学後の学びではどのようなことが提供されるのか」、
「キャンパスでの4年間をどのように過ごすのか」、そして
「どのような人材が育成されるのか」——、
具体的なイメージを発信することで入学希望者増加へ貢献することにつながります。
また、教員の活躍や学内の研究実績を周知することは
大学のブランドイメージを向上させ、
出口戦略にもつながるといえましょう。当企画では、
次代を見据えた、大学のさまざまな取り組みを分かりやすく紹介。
保護者、卒業生そして企業の採用担当など幅広いステークホルダーに向けて
「大学の姿」を発信します。
つきましては、本企画書をご高覧の上、
ご出稿をご検討くださいますよう
お願いいたします。

週刊 **ダイヤモンド**

「週刊ダイヤモンド」は、1913(大正2)年の創刊以来100年以上にわたり、日本の産業、企業そして企業人と共に歩んでまいりました。その間、常にビジネスの現場にいる経営者、部課長などの管理職の方々を主たる読者層と

して、新鮮な切り口で情報を提供し続けてきました。この方針は編集記事のみならずタイアップ広告においても一貫して守られております。読者にとっては広告もまた大事なビジネス情報と捉えられているからです。

企画要項

企画構成

取材・執筆/本誌委嘱ライターが取材し、記事スタイルでまとめます。
撮影/写真は、原則としてカメラマンが撮影します。事前のご相談にも応じます。

掲載料金(学校法人様料金)

見開き2ページ

180万円

(税別・制作費込み/通常価格254万円+制作費50万円=304万円)

※増ページ 1ページ単位でプラスすることもできます。料金はお問い合わせください。

お申し込み締切 発売日の60日前

取材撮影締切 発売日の40日前

オプション(別料金)

抜き刷りとダイヤモンド・オンラインへの転載につきましては、下記からそれぞれご確認ください。

- ① 抜き刷り
<https://adinfo.diamond.jp/dw/menu-1/>
- ② ダイヤモンド・オンライン転載
https://adinfo.diamond.jp/wp-content/uploads/dol_tensai.pdf

その他のオプションに関しましてはお問い合わせください。

お問い合わせ先

ダイヤモンド社 ビジネスメディア局

本 社 〒150-8409 東京都渋谷区神宮前6-12-17

TEL.03-5778-7220

FAX.03-5464-0783



- デザインは、大学紹介にふさわしい、知的でアカデミックなイメージを大切にします。
- 本誌委嘱ライターが取材を基に執筆します。取材対象者の画像は原則撮り下ろしを使用。校舎などはお借りすることがございます。
- 本企画は通常料金よりお得な広告料金を設定しています。
- ビジネス誌として幅広い読者をもつ本誌に「記事」が掲載される大学として、本誌の良質な読者に広く貴学名が認知されます。

わが大学の未来社会に貢献する人材育成戦略

誌面構成イメージ

1 企画タイトル

2 大学名

3 メインタイトル 30文字程度

4 リード 150文字程度

5 本文
全体の本文量は
14文字×120行程度
(1600～1800文字程度)
となります

CAMPUS

ing

キャンパスアイエヌジ



ダイヤモンド大学

Diamond University

この本分はタームです。その本分はタームである。二つの専門科目群がある。データサイエンスの学びの基礎で、データサイエンティストの能力を身に付ける「データサイエンス科目群」と、データサイエンスが実践的に活用されている分野について学ぶ「価値創造科目群」である。それと基礎と発展の2段階で学ぶ。

そのうち特徴的なのは、後者の「価値創造科目群」だ。もはやデータサイエンスは現在の産業革命において汎用技術と見なされ、応用可能性領域が広範囲にわたる。そのため基礎段階では、ビジネス、観光・社会、スポーツなどの分野の基礎知識を獲得するとともに、そ

外部の企業や組織と連携しつつ教育を展開

発展段階では、データサイエンスの知識・技能に加えて、具体的に経済・経営・地理情報システム・気象・観光・会計・スポーツなど、データサイエンスをベースにした価値創造について深く学ぶ。価値創造に関係する知識・技能を修得することで、現代社会の価値創造に貢献できる人材を育成するのだ。

本文タミーの特徴は、フィールドワークやインターンシップを重視していること。各分野で十分な研究実績のある教員の指

を用いたビジネスを展開している導下の下、実業界を実際にデパートの企業や組織と連携し、フィールドワークやインターンシップを通して、実務上の課題を発見し、それに対する解決策を学生が主体的に提案していく。

全学生にノートパソコンを貸与し、双方で授業。Learning Onlineでデジタル字修・反転授業など、多様な取り組みを行っているのも特徴の一つだ。

データサイエンスは技術進歩が早い分野であり、そのため卒業後は大学に戻って情報交換や新知識の修得をいくことが必須となる。そのため立正大学では、卒業生のネットワークを生かした開かれた研究・教育体制の構築を目指している。

A man in a dark suit is seen from the back, facing a woman in a black blazer and white shirt. They are in a professional setting, possibly an office, and appear to be in a conversation. The woman is smiling and gesturing with her hand.

写真の説明文が入ります写真の説明文が入ります写真の説明文が入ります写真の説明文が入ります

写真の説明文が入ります写真の説明文が入ります写真の説明文が入ります写真の説明文が入ります写真の説明文が入ります

6 ビジュアル

9 大学データ

6 ビジュアル 貴学の取り組み内容、活動や学部紹介などを想定しております
(人物写真、図版など3～5点)

7 写真キャプション
各50文字程度

8 問い合わせ

大学名、所在地、連絡先、ホームページのURL、QBコードなど

9 大学データ
学部名の掲載、
学生数などの大学規模の
掲載など必要に応じて
最新情報を入れます

10 クレジット

2 PR

10

こうして、データサイエンスに関する高度な研究・教育機能が大学の特色の一つとなる。データサイエンス学部の開設は、立正大学自身の新たな価値創造への挑戦でもある。

データサイエンスは技術進歩が早い分野であり、そのため卒業後も大学に戻って情報交換や

ダイヤモンド大学
大矢門人学長

新知識の修得をためてくことが必須となる。そのために立大では、卒業生とのネットワークを生かした研究・教育体制の構築を目指している。

また、全学的なデータサイエンス教育の支援に加えて、学部横断的な共同研究プロジェクトや、セミナリやシンポジウムを開催、さらにデータサイエンス研究に資するデータの収集・管理を行っていく予定だ。新設学部には、科目の学びの土台となる「入門科目群」に加え、二つの専門科目群がある。データサイエンスの学びの基礎や、データサイエンスが実践的に利活用されている分野について学ぶ「価値

能を修得することで、現代社会の価値創造に貢献できる人材を育成するのだ。

データサイエンスは技術進歩が早い分野であり、情報交換や新知識の修得を怠ることが必須となる。そのため国立正大学では、卒業生のネットワークを生かした開かれた研究・教育体制の構築を目指している。発展段階では、データサイエンスの知識・技能に如えて、具体的に経済、経営、地理情報システム、気象、観光、会計、スポーツなど、データサイエンスをベースにした価値創造について深く学ぶ。現代社の価値創造に貢献できる人材を育成するのだ。

大学データ

ダイヤモンド大学
〒150-8409
渋谷区神宮前6-12-17
TEL: **03-5778-72**
FAX: **03-5464-0**

学部数 ———— 00人
研究科数 ———— 00人
学生数 ———— 00人
教員数 ———— 00人

QRコード
入る